

KIYOSHI
SAITO
20th



Reclining Woman (Big Madonna)

ムンク

特別企画展

斎藤清展

～ 70余年の時を超えて～

2017 10.7^{sat} - 10.29^{sun}

開館時間 / 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 / 開催期間中は休館なし

観覧料 / 一般700円(600円) 高・大学生500円(400円) 中学生以下無料 ※()内は15名以上の団体料金

主催 / やないづ町立斎藤清美術館

共催 / ムンク×斎藤清展実行委員会、斎藤清画伯顕彰協議会

特別後援 / ノルウェー王国大使館

特別協力 / 東北電力、(株)あいづダストセンター、福島民報社、福島民友新聞社、福島テレビ

協賛 / (株)東北入谷まちづくり建設、会津ガス(株)、奥会津地熱(株)、(株)シンク、大和川酒造店、陽光社印刷(株)

会津信用金庫、(社)あいづ地域振興研究所、俳一美術、栗城林業(株)、小池菓子舗、(株)シモン、滯流の宿かわち、東邦銀行、美工堂、柳津測量設計(株)、渡部塗装工業(有)

後援 / 福島県、朝日新聞福島総局、毎日新聞福島支局、読売新聞社東京本社福島支局、産経新聞福島支局、河北新報社、時事通信社福島支局、共同通信社福島支局

NHK福島放送局、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島、ラジオ福島、ふくしまFM、エフエム会津、N S T、新潟日報社

協力 / 国立西洋美術館、三重県立美術館、静岡県立美術館、福島県立美術館、会津若松市教育委員会、ノルウェー政府観光局、ノルウェー商工会議所

斎藤清美術館
KIYOSHI SAITO MUSEUM OF ART, YANAIZU

ムンクを知って、もっと、斎藤清作品が好きになる。

ムンク作品を模写し、西洋近代技法はムンクに学んだ。

1940年前後、クロッキーを独学していた斎藤清。そんな時です、美術誌を通して、ノルウェーの画家&版画家エドヴァルド・ムンクの作品と出会ったのは。「ムンクに対して、北欧的な幻想や夢に、同じ東北生まれの自分が同質感、共感を覚え、自然に引き寄せられていった」。「ムンクの絵は複雑であるものの、それを画面処理上ではマッス(塊)として表現していることに、自分と似たようなものを感じ、憧れもした」と、斎藤清。

特に、ムンクの作品『病める子』や『マドンナ』などを模写し、光の明暗、濃淡など、西洋近代技法を先人に学んで、自分の絵を作り上げてきました。

1951年、第1回サンパウロ・ビエンナーレ展に木版画『凝視(花)』を出品し、戦後日本人初となる国際展を受賞。これを機に、Kiyoshi Saitoの評価は世界を駆け巡りました。「国際展ということもあって、私の絵がいくらか有利であったとすれば、それは自然にひかれていったムンク、ゴーギャン、ルドンの影響ゆえかも知れない」と。

ムンクと再び向き合って、抽象の「先」を見出そうと。

1960年代後半あたりから、京都などを描いた自らの抽象表現にしたいに懐疑的になり、深刻なスランプに陥ってしまい、「ああ、こんな絵を描いていて、一体僕はどうなるんだろうと思ったら、急に描けなくなった。こわくて、三ヶ月間アトリエにも入れなかった」と、斎藤清。そんな時です、エドヴァルド・ムンクの作品と再び向き合うことになったのは。

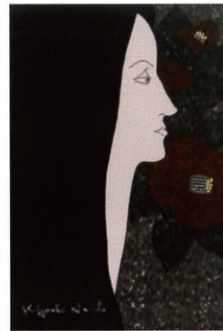
1940年代前後、若き日に描きためたクロッキー、ムンクの『病める子』『マドンナ』などを模写したデッサンの数々、これがスランプ脱出のきっかけとなりました。かつてのクロッキーを通して、ムンクと対峙し、ムンクが描く対象の「内面性」にも踏み込むことで、抽象の「先」にある新しい可能性を見出そうとしました。

ムンクを通して、新しい斎藤清を見つけてください。

生涯変わることを恐れず、たえず新しい表現技法に取り組んだ斎藤清。アニバーサリー特別企画『ムンク×斎藤清』展では、エドヴァルド・ムンクとの関係性を軸に、新しい斎藤清のドラマチックな軌跡をご紹介します。



エドヴァルド・ムンク《病める子》1894年
エッチング・ドライポイント 三重県立美術館蔵



斎藤清《椿》1948年 木版



斎藤清《椿り》1950年
木版 福島県立美術館蔵



エドヴァルド・ムンク《接吻》1895年
エッチング・ドライポイント
国立西洋美術館蔵



エドヴァルド・ムンク《ヴァンパイア》1895~1902年
色彩リトグラフ・色彩木版 静岡県立美術館蔵



斎藤清《スードG》1966年 木版



斎藤清《秋の会津 安座(2)》1983年
木版



斎藤清《会津の冬(71) 若松》1987年
木版

SPECIAL EVENTS (イベントのご案内)

【特別講演会】ムンクと斎藤清

●10月7日(土) 14:00~15:00

▶講師/田中 正之氏(武蔵野美術大学造形文化研究室教授)

▶斎藤清美術館アートテラス ▶聴講無料

【ミュージアム・コンサート】ムンクとKiyoshiと音楽と

●10月7日(土) 11:00、15:00

▶出演 ノルカルTOKYO ▶要観覧券

【ミュージアム・パーティー】サーモン・フェス

●10月15日(日) 11:00~14:00 (整理券配布)

ノルウェーサーモンを食べよう

▶ご入館先着200名様

【カフェ】カフェ・ムンク

●会期中の土日および祝日開催 10:00~15:00

【ギャラリートーク】

ムンクを通して、新しい斎藤清を見つける

●10月14日(土) 14:00~

●10月28日(土) 14:00~

▶斎藤清美術館第一展示室 ▶要観覧券

【ワークショップ】

みんなで作るムンク「生命のフリーズ」組版画

●10月7日(土)~10月29日(日)

ノルウェーに作品を送ろう!

同時開催

生誕110年・没後20年記念

斎藤清からのメッセージ

2017.10.7 SAT - 12.10 SUN

【開館時間】9時30分~17時(入館は16時30分まで)

【休館日】毎週月曜日(10/9[月]を除く)、10/10[火]、11/24[金]

【観覧料】一般・大学生 1,000(800)円、

高校生 600(500)円、小・中学生 400(300)円

※()内は20名以上の団体の場合。※(ふくしま教育週間)11月1~7日(6日は除く)は高校生以下無料となります。

福島県立美術館

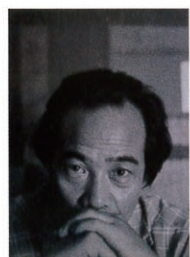
〒960-8003 福島県福島市森合字西養山1番地

Tel. 024-531-5511・024-531-5512

Fax. 024-531-0447

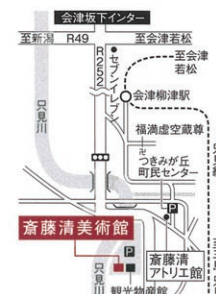
福島県立美術館・斎藤清美術館コラボ企画!

期間中、一方の館の半券をご呈示で、他方の館は団体料金でご覧いただけます。



斎藤清 Kiyoshi Saito

1907年福島県会津に生まれる。安井曾太郎氏の木版画作品に触発され、木版画作へ傾倒。1951年、サンパウロビエンナーレ展に出品された『凝視(花)』が在サンパウロ日本人賞を受賞。戦後日本人として初の国際展での受賞となり、日本の現代版画の素晴らしさと斎藤清の名を世界中に広めることとなった。以後、国内外で数多くの栄誉に輝き、1995年、文化功労者に顕彰される。1997年、永眠。享年90歳。



【自動車】

東北自動車道→磐越自動車道→
会津坂下IC→
R252を只見方面へ5km(道の駅「会津柳津」隣り)

【電車(JR)】

東京(東北新幹線)→郡山(磐越西線)→
会津若松(只見線)→会津柳津(徒歩20分)

〒969-7201

福島県河沼郡柳津町大字柳津字下平乙187

TEL 0241-42-3630

e-mail bijutsu@town.yanaizu.fukushima.jp

斎藤清美術館
KIYOSHI SAITO MUSEUM OF ART, YANAIZU